

横須賀市中小企業景況レポート

第51号（令和7年7月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：143社（うち、かながわ信用金庫＋湘南信用金庫 調査130社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和7年1～3月の景況感（調査時点 令和7年 3月1日）
 今期・・・令和7年4～6月の景況感（調査時点 令和7年 6月1日）
 次期・・・令和7年7～9月の景況感（調査時点 " ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページにD I 値の説明あり）

景況及び4項目の調査結果（全業種）

* D I 値調査結果は裏面に記載

* 【 】は今期のD I 値を記載

全業種の景況感は、前期【△5 P】から【△3 P】となりました。

今期の景況感は、製造業【10 P】は15 P向上し、サービス業【7 P】は14 Pやや向上しましたが、建設業【△4 P】は12 Pやや低下しました。卸・小売業【△19 P】、不動産業【0 P】は横這いの状況です。

項目別では、売上額【1 P】が10 Pやや向上しましたが、収益【△13 P】、雇用人員【△39 P】、資金繰り【△6 P】は横這いの状況です。

昨年同期（令和6年4月～6月）との景況感比較は、今期構成比【△13 P】で、前期構成比【△13 P】と比べ、横這いの状況です。

景況感は依然として原材料費高騰による収益の影響や人手不足による受注機会損失の声が聞かれます。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

向上 (15 P 以上)	やや向上 (6 P ～ 14 P)	変わらない (△ 5 P ～ 5 P)	やや低下 (△ 6 P ～ △ 14 P)	低下 (△ 15 P 以下)
				

業種別 調査結果と事業者の声

* DI 値調査結果は裏面に記載

（１）製造業 景況感 【 10 P <向上> 】 （前期比 15 P）

前期と比べ、売上額【△ 7 P】は 10 P やや向上しました。収益【△ 14 P】、雇用人員【△ 33 P】、資金繰り【0 P】は、横這いの状況です。

次期は、売上額、収益が大幅に低下し、資金繰りもやや低下の見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・主要取引先及び新規受注先からの受注が今後も見込まれているが、業況改善には今しばらく時間を要す。
- ・米国による追加関税により主要取引先の影響も懸念されるが、主要取引先の中国工場の閉鎖の伴い、中国部品が日本へ集約され、日本国内で加工した後、メイドインジャパンの製品として輸出されるなど、国内工場増産体制が進み、大幅増となった。

（２）建設業 景況感 【 △ 4 P <やや低下> 】 （前期比 △ 12 P）

前期と比べ収益【△ 10 P】、雇用人員【△ 53 P】がそれぞれ 8 P、6 P やや低下しました。売上額【4 P】、資金繰り【△ 7 P】は、横這いの状況です。

次期は、売上額がやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・資材・外注費の高騰により利益は逼迫。取引の浅い元請には値段交渉ができるようになったが、受注が多い古くからの取引先には今後の関係を考慮すると、交渉が難しい。
- ・受注は確保できているものの深刻な人手不足により現場負担が増大し、工事を円滑に進めることが難しい場合がある。

(3) 卸・小売業 景況感 【 △19P <変わらない> 】 (前期比 △5P)

前期と比べ、資金繰り【△9P】は、10Pやや向上しましたが、雇用人員【△47P】は、21P大幅に低下しました。売上額【△9P】、収益【△26P】は、横這いの状況です。

次期は、収益、雇用人員がやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・店舗売上に関しては、地域顧客の減少、高齢化による来客数の減少により、厳しい状況が続いている。仕入価格・人件費・光熱費の高騰が当面続くと思われ、先行きは不透明。
- ・機械部品の仕入値は上昇しているが、上昇分の価格を転嫁できているため、利益に変化はない状況。

(4) 不動産業 景況感 【 0P <変わらない> 】 (前期比 0P)

前期と比べ、売上額【11P】、資金繰り【0P】がそれぞれ7P、9Pやや低下しましたが、収益【11P】、雇用人員【△33P】は横這いの状況です。

次期は、売上額、収益がやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・賃貸物件の保有や物件売買を主業とするが、売買については建築資材・物価価格の高止まりの状況からうまく仕入ができていない。
- ・材料費高騰による高めの価格設定、景気先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により、顧客側も様子見の状況が続いている。

(5) サービス業 景況感 【 7P <やや向上> 】 (前期比 14P)

前期と比べ、売上額【16P】、収益【△6P】、雇用人員【△20P】は、それぞれ38P、22P、22P大幅に向上し、資金繰り【△9P】は横這いの状況です。

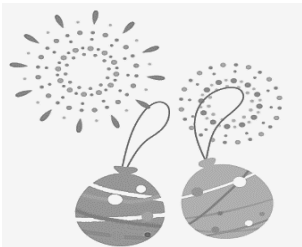
次期は、雇用人員がやや向上し、売上額がやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・従業員を新規採用し研修をしっかりと行ったところ、新規利用者もこのタイミングで増加。今後も断続的に利用者確保に努めていく。
- ・宿泊需要は堅調に推移しているが、一方で食材・アメニティ冷暖房費などコスト上昇が収益を圧迫しており、料金の値上げを検討している。

DI 値 調査結果

前	・・・前期	令和 7 年 1 月～3 月の景況感（調査時点	令和 7 年 3 月 1 日）
今	・・・今期	令和 7 年 4 月～6 月の景況感（調査時点	令和 7 年 6 月 1 日）
次	・・・次期	令和 7 年 4 月～6 月の景況感（調査時点	令和 7 年 3 月 1 日）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	150	34	34	43	11	28
今期	143	30	30	43	9	31
次期	143	30	30	43	9	31

(単位：ポイント)

業種 項目		全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景 況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良 い(A)	22	24	15	21	33	17	26	23	20	16	21	14	18	11	0	29	26	13
	変わらず	51	49	59	53	44	43	56	50	63	54	39	53	64	78	78	35	55	74
	悪 い(B)	27	27	26	26	23	40	18	27	17	30	40	33	18	11	22	36	19	13
	DI値(A)－(B)	△ 5	△ 3	△ 11	△ 5	△ 10	△ 23	8	△ 4	3	△ 14	△ 19	△ 19	0	△ 0	△ 22	△ 7	△ 7	0
	今－前 / 次－今	2		△ 8	15		△ 33	△ 12		7	△ 5		0	0		△ 22	14		△ 7
売 上 額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好 転(A)	25	29	20	24	20	13	32	27	30	21	35	21	36	22	22	21	32	16
	変わらず	41	43	55	35	53	47	44	50	53	44	21	49	46	67	56	36	52	71
	悪 化(B)	34	28	25	41	27	40	24	23	17	35	44	30	18	11	22	43	16	13
	DI値(A)－(B)	△ 9	△ 1	△ 5	△ 17	△ 7	△ 27	8	△ 4	13	△ 14	△ 9	△ 9	18	△ 11	0	△ 22	△ 16	3
	今－前 / 次－今	10		△ 6	10		△ 20	△ 4		9	5		0	△ 7		△ 11	38		△ 13
収 益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増 加(A)	17	16	11	18	13	3	24	20	17	14	16	12	18	22	22	11	13	10
	変わらず	50	55	62	47	60	57	50	50	60	46	42	58	73	67	56	50	68	74
	減 少(B)	33	29	27	35	27	40	26	30	23	40	42	30	9	11	22	39	19	16
	DI値(A)－(B)	△ 16	△ 13	△ 16	△ 17	△ 14	△ 37	△ 2	△ 10	△ 6	△ 26	△ 26	△ 18	9	△ 11	0	△ 28	△ 6	△ 6
	今－前 / 次－今	3		△ 3	3		△ 23	△ 8		4	0		8	2		△ 11	22		0
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多 い(A)	1	2	3	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	4	6	13
	適 正	61	57	59	65	67	63	53	47	50	70	49	56	64	67	67	50	68	64
	少 ない (B)	38	41	38	35	33	37	47	53	50	28	49	42	36	33	33	46	26	23
	DI値(A)－(B)	△ 37	△ 39	△ 35	△ 35	△ 33	△ 37	△ 47	△ 53	△ 50	△ 26	△ 47	△ 40	△ 36	△ 33	△ 33	△ 42	△ 20	△ 10
	今－前 / 次－今	△ 2		4	2		△ 4	△ 6		3	△ 21		7	3		0	22		10
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	余裕がある(A)	11	11	9	12	13	10	9	10	10	9	14	12	9	0	0	14	10	6
	支障がない	69	72	74	73	74	73	70	73	73	63	63	69	91	100	100	65	71	71
	苦 しい (B)	20	17	17	15	13	17	21	17	17	28	23	19	0	0	0	21	19	23
	DI値(A)－(B)	△ 9	△ 6	△ 8	△ 3	△ 0	△ 7	△ 12	△ 7	△ 7	△ 19	△ 9	△ 7	9	△ 0	0	△ 7	△ 9	△ 17
	今－前 / 次－今	3		△ 2	3		△ 7	5		0	10		2	△ 9		0	△ 2		△ 8

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答138社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	23社	17%	18%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	74社	53%	51%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	41社	30%	31%
DI値(A)－(B)		△13P	△13P

